

・感染症について

・保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発生を防ぐために、下記の感染症（A）については、病後の登園時に「治癒届」の提出をお願いします。また、お子様の様子も必ずお伝えください。

・感染力の期間に配慮し、お子様の健康回復状態が集団での保育園生活が可能な状態となつてからの登園をお願いします。



◎病後の登園時に「治癒届（医師記入）」の提出が望ましい感染症（A）

病名	登園のめやす	主要症状
麻疹（はしか）	解熱後3日を経過してから	発熱・目の充血・口腔内の白い発疹・全身の膨腫疹
風疹	発疹が消失してから	発熱と同時に出る小さい赤い発疹
水痘（みずぼうそう）	全ての発疹がかさぶたになってから	痒みを伴う水疱性の発疹
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺の腫脹が発現してから5日経過し、全身状態が良好であること	耳からあごにかけての腫れ・発熱
インフルエンザ	発熱後5日を経過し、3日を経過してから	発熱・咳・頭痛・咽頭痛 関節痛
咽頭結膜炎（プール熱）	主な症状が消え、2日経過してから	急な高熱・結膜炎・目やに 咽頭痛
百日咳	特有の咳が消失し、全身状態が良好であること	夜間に激しい咳（コンコンと乾いた咳）・痰
結核	感染の恐れがなくなつてから	発熱・咳・呼吸困難・食欲低下
腸管出血性大腸菌感染症（O157・O26・O111など）	症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回検便によって、いずれも菌陰性が確認されてから	嘔吐・下痢（血便・水様便） 発熱

流行性角結膜炎	感染力が非常に強いため、結膜炎症状が消失してから	多量の涙や目やに 激しい目の充血・発熱
急性出血性結膜炎	医師により感染の恐れがないと認めるまで	強い目の痛み・異物感・充血・まぶたの腫れ・目やに・結膜下出血
髄膜炎菌性髄膜炎	医師の感染の恐れがないと認めるまで	頭痛・発熱・けいれん 意識障害・髄膜刺激障害 乳児では大泉門膨隆

感染症（A）「治癒届」

治 癒 届

平成 年 月 日

あかつき保育園園長殿

クラス名 _____ 組

園児氏名 _____

生年月日 年 月 日生

上記の者は、平成 年 月 日より平成 年 月 日迄欠席いたしましたが、(病名) _____ が軽快し、伝染病の予防上支障がないと主治医より指示を受けましたので、ここにお届けいたします。

保護者氏名 _____ ㊞

住 所 _____

上記証明いたします。

医療機関名

治療担当医師名 _____ ㊞

平成 年 月 日

・下記の感染症（B）の場合は、登園のめやすを参考に、かかりつけの医師の診断に従い「登園届（保護者記入）」の提出をお願いします。なお、保育園での集団生活が適応できる状態に回復してから登園するようにご配慮ください。

◎病後の登園時に「登園届」の提出が望ましい感染症（B）




病名	登園のめやす	主要状況
溶連菌感染症	抗菌薬内服後 24～48 時間 経過していること	急な発熱・咽頭痛 赤い細かい発疹 舌の赤い発疹
マイコプラズマ肺炎	発熱や激しい咳が 治まっていること	発熱・激しい咳
手足口病	発熱や口腔内の水疱・潰瘍 の影響がなく、食事がとれ ること	手のひら・足裏・口の中に 水疱上の発疹
伝染性紅斑（リンゴ病）	全身状態が良いこと	頬が赤くなったり手足に レース状の発疹
ウイルス性胃腸炎（ノロ・ ロタ・アデノウイルス等）	嘔吐・下痢等の症状が治ま り、普通の食事がとれる こと	嘔吐・下痢・発熱
ヘルパンギーナ	発熱や口腔内の水疱・潰瘍 の影響がなく、普通の食事 がとれること	口腔内の炎症 （口内炎など）・発熱
RSウイルス感染症	呼吸器症状が消失し、 全身状態がいいこと	喘鳴・咳が続く
带状疱疹	全ての発疹が かさぶたになってから	痒みや痛みを伴う 水疱性の発疹
突発性発疹	解熱し機嫌やよく 全身状態がいいこと	解熱後の全身の発疹

感染症（B）「登園届」

<h3>登園届 <small>(保護者記入)</small></h3>	
平成 年 月 日	
あかつき保育園園長殿	
クラス名 _____ 組	
園児氏名 _____	
病名「 _____ 」と診断され、	
年 月 日 医療機関名「 _____ 」において	
症状が回復し、集団生活に支障がない状態と判断されましたので登園いたします。	
保護者名 _____ 印又はサイン _____	

・下記の疾病につきましては必ずしも欠席をすべきではありませんが、集団への感染の恐れがあるために、感染予防のための方策が必要です。保育園でも対応しますが、まずはご家庭で対応していただきますようお願いします。

◎感染予防のための方策が必要な疾病 

伝染性膿痂疹（とびひ）	水疱・じゅくじゅくの傷 痛み・痒み	浸出液が皮膚につかないように湿った皮疹をガーゼなどで覆う プール利用は中止
伝染性軟属腫（水いぼ）	水疱	浸出液が皮膚につかないようにガーゼなどで覆う プールの利用は自粛
頭じらみ	頭部の痒み	プールの利用は中止 タオルは共用しない 寝具は毎日取り換える